



2024年9月19日は山形市のやまがたクリエイティビティセンターQ1にて、9月26日は新庄市のリフレイムラボラトリーにて、山形県内の経営者、山形県内外の若手社員、学生合計16名の方にご協力いただき座談会を開催しました。座談会の様子をまとめた映像を右記のQRコードリンクからご確認いただけます。冊子に掲載しきれなかったリアルな若者の声をぜひご覧ください。



参加者（五十音順）

座談会開催にあたり16名の方にご協力いただきました。この場を借りて心より御礼申し上げます。

経営者



株式会社メコム
代表取締役
安部 弘行さん

若者が東京志向だけではないと知り、山形の魅力的な企業を広く学生に伝える必要性を感じました。



丸和熱処理株式会社
代表取締役
後藤 章洋さん

就活に対する先入観が払拭出来たので、とても参考になりました。



株式会社松田組
代表取締役
松田 孝一さん

率直な話を聞くことができ、この先の会社の指針につながるヒントがありました。



山形航空電子株式会社
代表取締役
長沼 俊一さん

就職情報サイトに加え、SNSや動画を活用する重要性や、会社選びの条件が多様化している点が印象に残りました。

社会人



株式会社XLOCAL
青野 海さん

出身: 山形市
勤務地: 県内



AccueMarie TAMAHIME
伊藤 琳那さん

出身: 鶴岡市
勤務地: 県内



エン・ジャパン株式会社
柏倉 侑弦さん

出身: 東根市
勤務地: 東京都



株式会社カーサービス山形
梶沼 将貴さん

出身: 東根市
勤務地: 県内

学生



山形大学
江刺 皇綺さん

出身: 宮城県



東北大学
奥山 将人さん

出身: 新庄市



宮城大学
野口 侑愛さん

出身: 新庄市



「経営者」×「若者」の座談会より

今若者が企業に求めていること

企業の現状との差は...?

18~24歳 全年齢
転入 +4,182人 +14,862人

転出 -6,663人 -18,023人

増減 -2,481人 -3,161人

令和5年
山形県
県外転入・転出者数

山形県
県外転入・転出者数

山形県
県外転入・転出者数

令和5年
山形県
社会の移動人口調査結果報告書
(山形県) (https://www.pref.yamagata.jp/020052/kensei/shoukai/toukeijouhou/jinkou/jinko_nenpo.html) より

教えて!

みんなの就活事情

若者は今、どんな考え方で会社を見つめ、何を求めているのか。



01

— 若者が求める職場環境の要素 —



昇進して活躍したい人もいればそうでない人もいます。一つの企業に長く務める時代ではありませんが、先のビジョンが見えれば長く務めることに繋がると思います。



常に変化を志向する社員の新しい挑戦への意欲を、会社として受け入れる姿勢が求められると思います。



給与、スキルアップを重視しています。自分が働く姿を想像できるか、まずは都心に出て経験を積んでからいざれ地元に...と考えています。
1日のタイムスケジュールや昇進など入社後の生活が想像できる情報が知りたいです。



社員の生活に合わせて、在宅、フレックス制度が整っていると働きやすいなと思います。自分は収入、福利厚生、勤務地を重視しています。仕事とプライベートは切り分けたいです。

知りたいのは 就職後の自分の姿。 柔軟な働き方が求められる

多様なキャリアビジョンを尊重する企業へ



理系向けの新卒エージェントを活用し、情報収集、自己分析・添削をしました。給与面はもちろん、スキルが磨けてモチベーションを保てるかを重視しました。今の会社は教育環境が整っていて一人一人に教育係がつきます。



大学で学んだことを就職先で活かしたいという人はあまりいませんでした。自分も新卒向けのエージェントを活用し1対1で自己分析することで自分に合った職種を調べました。成長環境を重視して入った現在の職場は、手を挙げれば何でもやらせてくれる社風です。

社員の将来、可視化できていますか？



会社に勤め続けるか辞めるかは人間関係が大きいと感じます。コミュニケーション環境が整っていることや雰囲気は入社前に確認することが大事です。今の会社は、目標達成に向けた社長との面談が月1回あります。



若手社員が新入社員の教育・相談係になるのは自分の勉強にもなっています。



社長や役員が若手を想ってくれている、意見を聞いてくれる姿勢が安心感や働きやすさに繋がると思います。



社員が自分たちで部活を作り、会社もサポートしています。参加は自由ですが、クラブ活動を通じて役職に関係なく気軽に話せるようになりました。社員同士の距離がぐっと近づきました。今では休日も一緒に遊ぶ仲間ができています。



実際の導入事例

- ✓ 人員配置を工夫し、社員同士のコミュニケーションを促進



情報発信の最適解とは?
キーワードは“低ハードル”



マイナビ、リクナビを活用していますが、情報が多いこと、違いが分かりにくいためどこを選べば良いか悩みます。会社の雰囲気を知るために、SNSの社員動画も参考にしています。



会社の雰囲気や色が出ている合同企業説明会でその日に複数の企業の情報を得ていました。どの企業も良く見せようとするのは当然ですが、正直に「こういう人は合わない」と教えてくれたほうが信用できました。因みに、自社ではLINEを活用した採用活動をしています。



求人アプリを使いこなすのは正直大変。普段使い慣れているLINEで情報発信や、採用担当がコミュニケーションを取ってくれるのはありがたいです。



大学時代は地元企業の情報が少なく、有名企業に流れがちです。地元企業の魅力を伝える新たな手段を模索し、様々な方法を試すことが重要だと思います。

- ✓ 働く姿をイメージできる内容を普段からSNSで発信

実際の導入事例

- ✓ フレックス制度
- ✓ 1時間単位で取れる有給休暇制度
- ✓ リモートワーク
- ✓ 直接業務に関係のないものでも資格取得支援の対象に
- ✓ 男性育休取得実績
- ✓ 単に『制度があります』ではなく、『実績があります』ないと、若者には響かない！



02

綺麗事はもういらない。 今必要なのは、社員のリアルな声



やりたいことが決まっていたのでインスタで結婚式場を探して、自分が自由にやりたいことができそうな企業に絞りました。インターに参加することで、会社のビジョンや業務を体感できました。社員さんとも話すことができる良い機会でした。



入社前からメンターが一人ついて実際の社内事情を知ったことで、入社後のギャップを防ぐことができました。企業には、求人票や説明会では分からぬ情報を発信して欲しいです。



実際の導入事例

- ✓ インターンを実施し、仕事内容の話もしつつ人間関係や会社の雰囲気を掴んでもらう
- ✓ 若手社員を採用責任者にすることで、話しやすい環境づくり

企業選びの条件

会社のビジョンへの共感は必須!
さらには…

03

社員×会社の
コミュニケーションが鍵に /

入社前 \ 給与・働き方重視! /

◎ ワーク・ライフ・バランス重視

プライベートや家族との時間を大事にしたい!



◎ 給与・スキルアップ 資格取得支援

新しいことに挑戦しやすい環境
相談しやすい環境



◎ 人間関係

一番は賃金。初任給はどこも書いてありますが、入った後にどう上がっていくのか、将来の収入の見通しが持てるかを重視しています。

実際の導入事例

- ✓ 1人でやっていたことを1.5人でやり、残業時間削減
- ✓ 新入社員に若手社員が一人つくことで話しやすい環境づくり
- ✓ 社長と社員の個別面談を実施(一律にはしない)



情報発信の最適解とは?
キーワードは“低ハードル”

